

8/8 「五反田川でコウモリの超音波を聞こう」 実施報告

タイトル・概要	<p>生田の生き物を観察しよう！「五反田川でコウモリの超音波を聞こう」</p> <p>みた・まちもりカフェに集合、街路樹のスズメなどを見て その後、五反田川の魚見橋でコウモリや植物の観察をする。 ※雨天の場合はカフェ内でコウモリの話をしる。</p>
主な対象者	三田・生田在住の小学4年生～中学生 その他、地域の方々
主催	三田サポートわなり
企画	倉本宣（農学部／生田ボランティアセンター） 藤掛素子（生田ボランティアセンター）
コンセプト	<p>自分たちの住んでいる地域について、五感で感じ、知ることを大切にする。</p> <p>「実際に歩いてみるから、分かること」の発見を大切にする。</p> <p>あれこれ考えたり、感じたり、伝え合ったりの、プロセスそのものを大切にする。</p> <p>道具を用いて調べるなど、自然科学的な論理やものの見方を大切にする。</p> <p>多くの人を対象とするより、参加する人の満足度を高めることを大切にする。</p>
日時	2013年8月8日（木） 17:30-19:30
天候	曇り
場所	みた・まちもりカフェ － 魚見橋 － みた・まちもりカフェ （地図参照）
参加費	500円（三田サポートわなりが集金）
参加者	8名（小中学生2名、地域およびわなりの方々4名、倉本、藤掛）
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コウモリの説明（骨格、繁殖）、バットディテクターの使い方 2. スズメのお宿はどこにある →生きものの夜 3. オシロイバナとホウジャク、クズ →夜の生きものの暮らし 4. 匂いに敏感になる、クサギの葉 →夜の人間の感覚 5. コウモリの観察 バットディテクターで超音波を聞く
準備品	バットディテクター、観察ノート（アブラコウモリの写真、地図）、計画書、 名札、バインダー、鉛筆
参加者の様子	<ul style="list-style-type: none"> * 観察ノートのアブラコウモリの写真への反応。骨格的には「指」に翼がついていることを各自が確認。 * スズメのお宿を観察しながらさまざまな疑問が出る。スズメはいつも同じ木に帰って寝るのか？ 同じ枝で寝るのか？ 木に帰ってくる順番は毎日違うのでは？ 等々。 * 怪我したアブラコウモリを拾って飼っている身近な人の話。コウモリが子どもを産み、乳を飲ませている等の報告。 * バットディテクター（道具）への興味。さらに調べてみたい欲求。借りて帰る参加者。 * クサギの茎や葉の匂いに感動。ピーナッツバターの香り。 * アブラコウモリは思ったよりも小さいこと、都会の光にめげず、結構飛び回っていることを実感。 * バットディテクターのコウモリの音を、だんだん聞き分けられるようになる参加者。慣れてくると音は頻りに聞こえてきた。姿が見えない頃から音が聞こえ、やがて実際にコウモリが飛んでくることを体験。 * 自分の家の周りへの興味。バットディテクターで後日調べてみたい。借りて帰る参加者。

当日の様子



地域のコミュニティ・スペース「みた・まちもりカフェ」に集合。自己紹介や、こうもり、バットディテクターについて、ざっくばらんな話し合い。



歩いてみると、さまざまな生きものを発見する。



五反田川の魚見橋に到着。バットディテクターを使ってみる。



道具の使い方にだんだんと慣れてくる参加者。思い思いに観察する。



当日配る「観察ノート」表にはアブラコウモリの写真、裏には今日歩く地図。そして十分な余白。観察と考察の糸口になるように。